

安井直明議員

- ◆本庁、支所機能のあり方と自治振興会
- ◆森林行政と地元材を生かした甲賀市の公
- ◆共事業推進について
- ◆デイサービスの現状と問題点を問う
- ◆青木ガ橋の塗り替え塗装及び歩道橋の設
- ◆置計画について
- ◆青土ダムエコバレーバンガローの補修等

小西喜代次議員

- ◆より便利で生活に密着した公共交通実現
- ◆をめざして
- ◆窓口負担の軽減で誰もが安心して利用で
- ◆きる国保制度に改善を
- ◆近江茶の振興策を問う

小松正人議員

- ◆古城山の連続不審火対策と発生防止につ
- ◆いて
- ◆梅の木市営住宅入居者の駐車場設置要望
- ◆について
- ◆「口蹄疫」侵入阻止の万全対策について
- ◆小学校における「特認校制度」について
- ◆水口東部コミュニティセンターの活用

山岡光広議員

- ◆国民読書年にあたり市立図書館の利便性
- ◆向上を
- ◆通学路の安全確保について
- ◆民生委員児童委員のあり方と市との連携
- ◆について
- ◆国民皆保険の要 国民健康保険について

6月議会
開会(22日まで)

緊急対策



和田龍夫産業経済部長に申し入れる日本共産党の(左から)小西喜代次・山岡光広・小松正人・安井直明の各議員(25日)

牛や豚の強毒ウイルス 口蹄疫

戦後最大の畜産被害

申入れ

日本共産党
甲賀市議員団

宮崎県で発生した牛や豚の口蹄疫被害は、数十万頭を殺処分せざるを得ないなど戦後最大の畜産被害となっています。全国に拡大する恐れもあることから、日本共産党甲賀市議員団が25日、市は国、県と連携して、感染予防に万全を期すよう項目の緊急申入れを行いました。

感染予防に万全を

口蹄疫は、人には感染しませんが、牛や豚などには非常に感染力が強いウイルス。家畜伝染病に指定されており、発生した場合は、治療法がないため殺処分が義務づけられています。日本では2000年に92年ぶりに宮崎と北海道で発生、740頭を処分しましたが、今回はケタ違いの被害。手塩にかけて飼育した家畜の殺処分を受ける被害畜産農家の苦悩は筆舌に尽くせないもので精神的重圧は極限に達しています。しかも被害は拡大する一方。近江牛で知られる県内の肉牛素牛の4割が宮崎牛だけに感染予防に万全にすることは緊急課題です。甲賀市では17戸の畜産農家が乳牛893頭、肉牛534頭飼育しています。申入れでは、国や県と連携して防疫体制の強化、家畜の健康状態を徹底把握すること、牧場などの消毒体制強化、感染ルートの解明などを求めました。

任期満了に伴う参院選(24日公示)と知事選(24日告示)が、7月11日投票で行われることがほぼ確定となりました。

参院選・知事選とも7月11日投票

日本共産党

甲賀市議団ニュース

2010年 6月6日 NO.73



安井 直明
土山町前野 541
Tel 67-0147
Fax 67-1660



小松 正人
水口町名坂 128
Tel 62-9652
Fax 62-9652



山岡 光広
甲南町森尻 16
Tel 86-2985
Fax 86-0415



小西喜代次
信楽町勅旨 456
Tel 83-0765
Fax 83-0765